

企業課題解決へ成果発表

高校生が地域の企業が抱える課題の解決に挑戦するプロジェクト「未来留学」の成果発表会が、大垣市加賀野のソフトピアジャパンセンターで開かれ、県内外の3校の生徒が力を尽くした取り組みを発表した。

(船橋靖明)



「未来留学」での成果を発表する生徒たち＝大垣市加賀野、ソフトピアジャパンセンター

金融機関のマルシェ集客

大垣商高生、フリマ考案

同プロジェクトは地域人材育成のため、コンサルティング業のJPコーチ&コンサルティング(同市郭東町)が昨年度から主導。本年度は大垣商業高校(同市開発町)、揖斐特別支援学校(揖斐川町谷汲深坂)、愛知商業高校(名古屋市の計約100人が参加した。

生徒たちは関係者ら約300人の前で活動内容を発表した。大垣商業高マーケティング類型の生徒らは、大垣西濃信用金庫(大垣市恵比寿町)が毎年実施しているイベント「SDGsつながるマルシェ」の集客増加に向け、スタンプラリーやフリーマーケットといった企画の考案や、チラシ作成といった準備、若年層向けの交流サイト(SNS)での広報活動を実施。イベント当日は雨だったが、千人以上の来場を達成した。同校3年の西脇太陽さん(18)は「大学でも経営を学ぶので、今回得た知識を生かしたい」と話した。

そのほか、中華料理店「サンコック」の新メニュー開発や、手芸キットの企画製造を営む小山(同市寺内町)の経営改善、ハンズコーポレーション(名古屋市)が展開するリラクゼーション店の新プログラム作成などの取り組みが発表された。